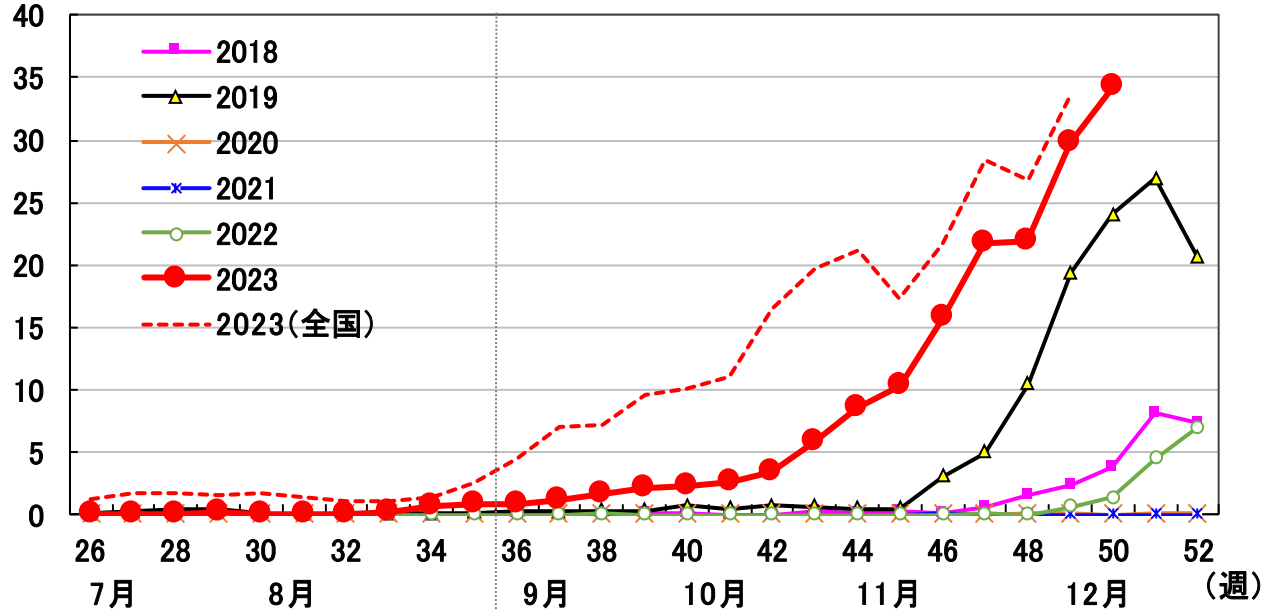


インフルエンザの発生状況(富山県)

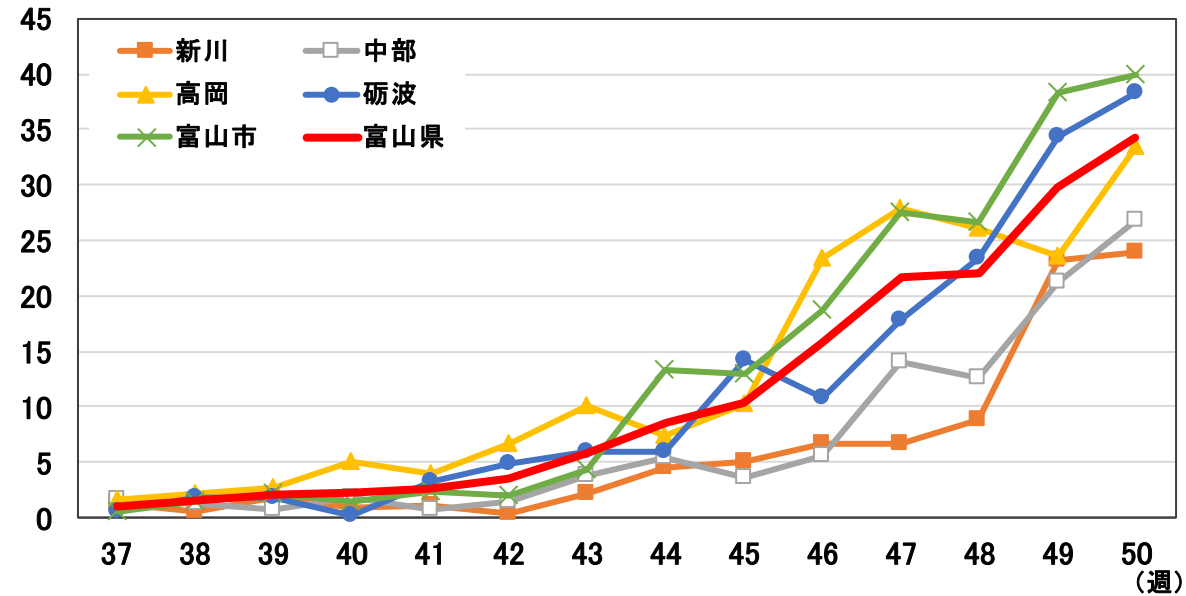
【第50週(2023/12/11~12/17) 感染症発生動向調査速報値 (2023/12/20時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数は今週（第50週）34.27人/定点となり、先週（29.77人/定点）から増加し、警報レベルの目安である30人/定点を超えた。
- 厚生センター・保健所別に見ると（図2）、高岡管内で先週から大きく増加し、その他の管内では増加または横ばいであった。富山市、砺波管内に加え、高岡管内でも警報レベルの目安である30人/定点を超えた。

図3. 年代別割合(富山県、第50週)

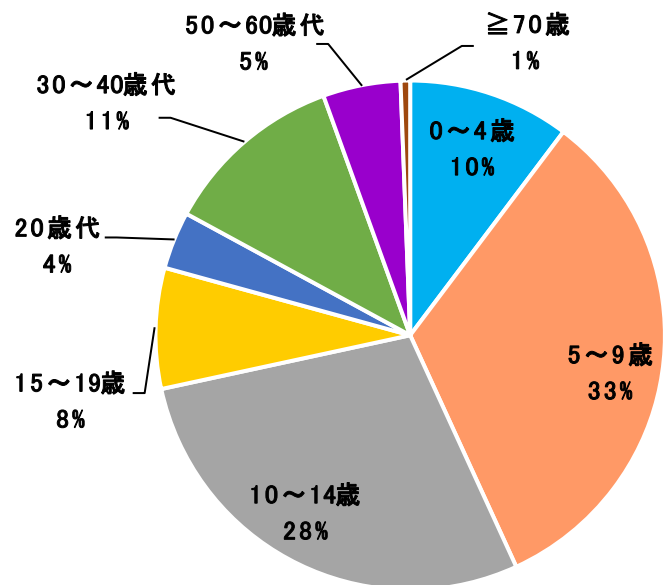
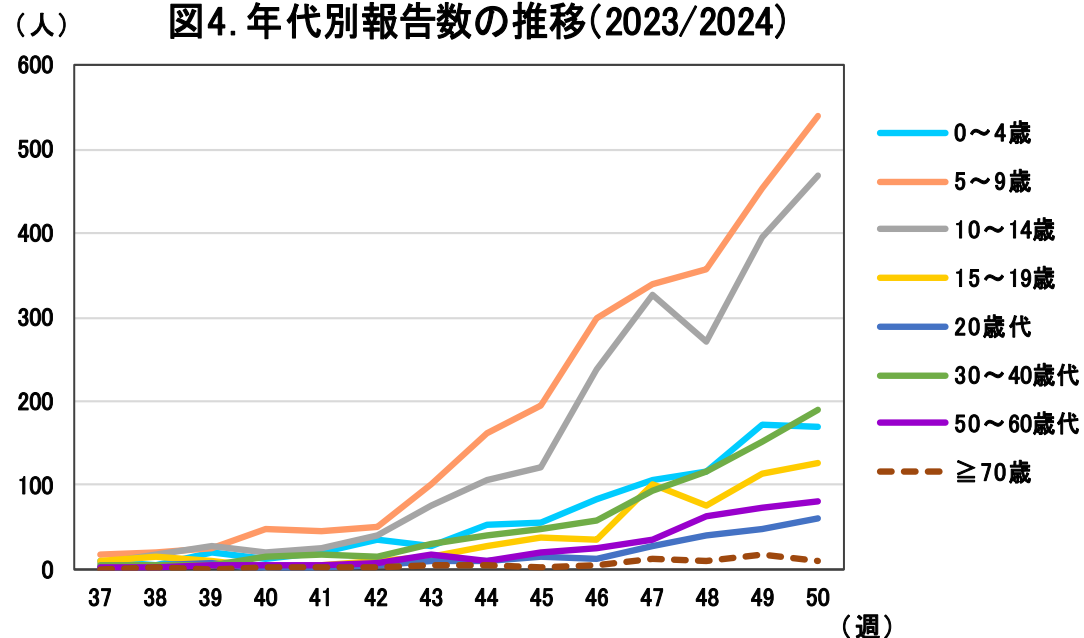


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第50週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が71%を占めた。
- 年代別報告数の推移（図4）では、5~14歳（橙、グレー）が大きく増加し、その他の年代では増加または横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第50週に50件（幼稚園1件、小学校26件、中学校21件、高等学校2件）の報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP：<https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第49週)

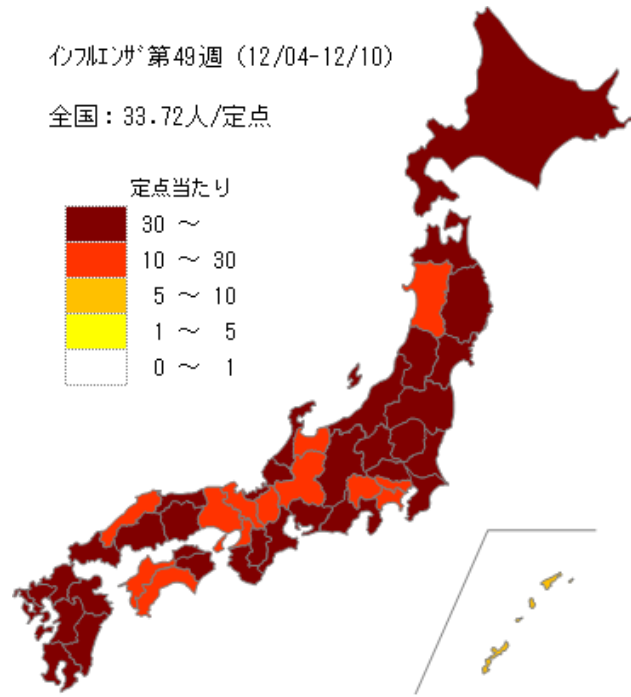
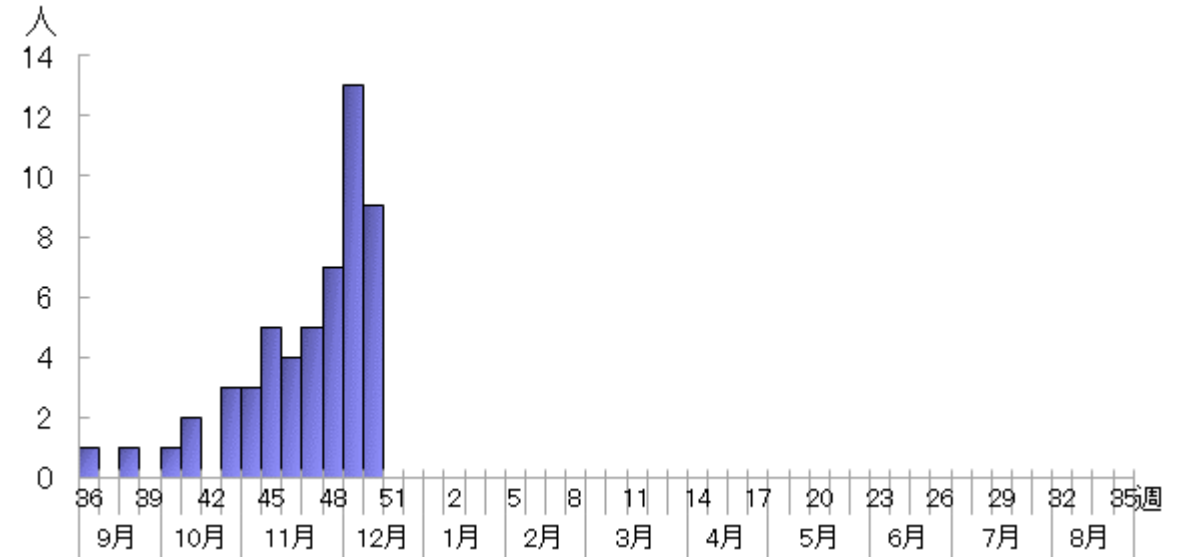


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第50週)



- 全国では第49週に33.72人/定点となり、第48週（26.72）から増加し、警報レベルの目安である30人/定点を超えた。都道府県別（図5）では、沖縄県を除く46都道府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。また、その内33道県で警報レベルの目安である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第50週に9例の報告（60歳代：3例、70歳代：2例、80歳以上：4例）があった。
- 今シーズンは、例年より早期にインフルエンザの流行が認められた。患者報告数の増加が続いており、今後の発生動向を注視する必要がある。